

壁新聞による小学校の紹介・交流	(2) 小学校との連携・交流
公立保育所	更科保育所
<実施時期>	11月～2月
<幼児期の終わりまでに育って欲しい姿に繋がる部分>	
「思考力の芽生え」「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」「言葉による伝え合い」	
<活動のきっかけ>	
<ul style="list-style-type: none"> ・「年長になると学校にお手紙を持っていくのを楽しみにしていたけれど、今年には行けなくて残念がっている子どもたちがいた。 ・「小学校の中はどのようになっているのか。どんな部屋があるのかを知りたい」との声があった。 ・以前は小学校の校庭でも遊ばせていただいていたので、「校庭って広いよね」「お兄さん・お姉さんは優しかったね」と学校への興味や関心を持っていた。 	
<活動のねらい>	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校生活への関心を高め、就学に期待を持つ 	
<経験する内容>	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の中はどのようになっているのか、何をするのか等保育所との違いを感じたり、知ったりする。 ・小学校と保育所との違いや、物の大きさに気づく。 ・共通の話題から考えたり、友達と話したり、友達の話を聞いたり等の経験をする。 	
<新型コロナウイルス感染症に対する活動の工夫>	
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で例年のように子ども達が直接小学校を訪問したり、小学生との交流を持つことは難しいが、子ども達の興味や関心を小学校に伝えたと理解をしてくれて、保育所職員が小学校を訪れ、校内の写真を撮らせていただいた。 	
<活動の内容>	
<ul style="list-style-type: none"> ・職員が小学校に伺い、写真を撮らせていただく。職員の撮ってきた写真を見ながら、子ども達と「ここは何の部屋か?」「どんなものがあるのか?」等をクイズ形式で話をした。 ・保育者がイラスト、メッセージを入れた壁新聞を作成し、子ども達の見える場所に掲示した。 ・保護者も送迎で見る場所に壁新聞を掲示した。 	

<活動でみられた子どもの姿>	<環境構成・教材や保育者の援助等>
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校と保育所のトイレの違いに気づいたり、保育所のホールと小学校の体育館の広さ比べをしていた。 ・「勉強が楽しみ」という子もいた。その後文字遊びやお手紙ごっこへと遊びが広がった。 ・パソコンルームを見て「すごいね。こんなにパソコンがあるんだ」と驚いたり、家庭科室の写真を見て「料理ができるんだ」とワクワクしていた。 ・壁新聞を見ながら保護者と一緒に小学校の話をしたり「楽しみだね」と就学に期待を持つ姿が見られた。 ・この活動の後、就学前健康診断があり、実際に学校に行き「部屋がたくさんあった」「体育館で〇〇したんだ」等周りの様子にも関心を持っていた。 ・一緒に掲示したことで、嬉しそうに見て期待や安心感に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の生活や様子がわかる絵本等も用意し、給食やどんな勉強をするのか等知ることができるようにした。 ・壁新聞にすることで保護者にも知らせることができ、保護者支援にも繋げるようにした。 ・他校に就学する子もいるので、ホームページから学校の様子をプリントし、一緒に掲示した。
<成果と今後の課題>	
<ul style="list-style-type: none"> ・職員も学校を直接訪れたことで小学校との繋がりが持てた。 ・コロナの影響は今後も続き、例年行われている小学校との交流会等は難しいかもしれないが、その中でもできることを考え、工夫し、連携を継続していく。 ・いろいろな体験が子ども達の喜びとなり、見通しを持ちながら生活や遊びを楽しんでいくことが、子どもの育ちに繋がるものであることを強く感じた。 	
<カリキュラムコーディネーターのコメント>	
<p>例年実施していた年長児が小学校に手紙を届ける活動が「コロナ禍」で実施できないことから、保育者が小学校に行き写真を撮って壁新聞を作ったことで、子どもの小学校に対するワクワクする気持ちが引き出されていました。さらに、壁新聞の掲示は保護者にとっても貴重な情報源であり、保護者の小学校への理解や安心感にも繋がったと感じます。就学前健康診断で実際に小学校を訪れる経験や他校のホームページとも一緒に掲示するなど、壁新聞を起点にして他の活動とも関連づけることが、有効であると感じました。</p>	